学校番号	3010

令和8年度　　工業　　科

教科	工業	科目	工業技術基礎	単位数	2 単位	年次	1 年次
使用教科書	「工業技術基礎」（実教出版）						
副教材等	基礎製図練習ノート（実教出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

プロダクトデザイン分野における工業技術や製図、アイデアの発想方法などに関する基礎的な知識と技術を講義と実習を通して学びます。デザイナーがイメージする「もの」の形を正確に分かりやすく表現し、伝えたい相手に必要な情報を正しく伝える表現方法を理解するため、立体を平面状上に置き換えるための技術を身に付けます。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
製図の工業技術の基礎的な知識・技術を身に付ける。
【思考力、判断力、表現力等】
第三者に伝わる図面を書く力を身に付け、今後の制作活動に活用する力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】
工業技術・製図に興味を持ち、その技術の向上をめざして自ら学び、工業実習の実践に取り組む態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a：知識・技術	b：思考・判断・表現	c：主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	プロダクトデザイン分野における工業技術の基礎的な知識・技術を身に付け、その技術を理解し、適切に活用する。	プロダクトデザイン分野における工業技術の基礎的な知識と技術を活用し、適切に判断する。また、自分の考えを目に見える形で表現する力を養う。	プロダクトデザイン分野における工業技術・製図に興味を持ち、その技術の向上をめざして意欲的に取り組むとともに、実践的に活用しようとしている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1	基礎製図①	・工業技術について ・製図道具の扱い方 ・図面における線の 引き方、文字の書き方 ・製図法 ・三面図 ・等角図の 読み取りと書き方	a: 正しい道具の使い方を身に付け、製図について適切な理解ができている。 b: 課題に取り組むにあたっての思考を深め、自分のアイデアを表現する創造的な能力を身に付ける。 c: 工業デザインに関心を持ち、意欲的に取り組んでいる。	学習状況の観察 作品 問題演習 定期考査	学習状況の観察 作品 プレゼンテーション 定期考査	学習状況の観察 提出状況 発言 レポート
2	基礎製図②	・プレゼンテーション ・製図演習 ・尺度について ・製図演習 ・等角図における 円筒部の書き方 ・断面図	a: 製図について適切な理解ができている。 b: 課題に取り組むにあたっての思考を深め、自分のアイデアを適切に表現し、図面に表すことができる。 c: 工業デザインに関心を持ち、意欲的に取り組んでいる。	学習状況の観察 作品 問題演習 定期考査	学習状況の観察 作品 プレゼンテーション 定期考査	学習状況の観察 提出状況 発言 レポート
3	基礎製図③	・等角図における 切断面の書き方 ・展開図 ・製図演習	a: 断面図についての適切な理解ができており、製図技術を作品制作において適切に活用できる。 b: 課題に取り組むにあたっての思考と判断。 c: 工業デザインに関心を持ち、意欲的に取り組んでいる。	学習状況の観察 作品 問題演習 定期考査	学習状況の観察 作品 プレゼンテーション 定期考査	学習状況の観察 提出状況 発言 レポート

※　表中の観点について　a:知識・技術　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度